

CSR REPORT 2026

人を想う 地域を想う 地球を想う

私たちは事業活動を通じて、環境・社会・人に対する責任を果たしながら

持続可能な価値の創出に取り組んでいます

本報告書では、その取り組みとこれからの姿勢をご紹介します

株式会社北四国グラビア印刷

CSR報告書

今日も“想い”で世界を彩る。

Filling the world
with my thoughts today,
softly painting each moment.



会社HP



Instagram



X(旧Twitter)

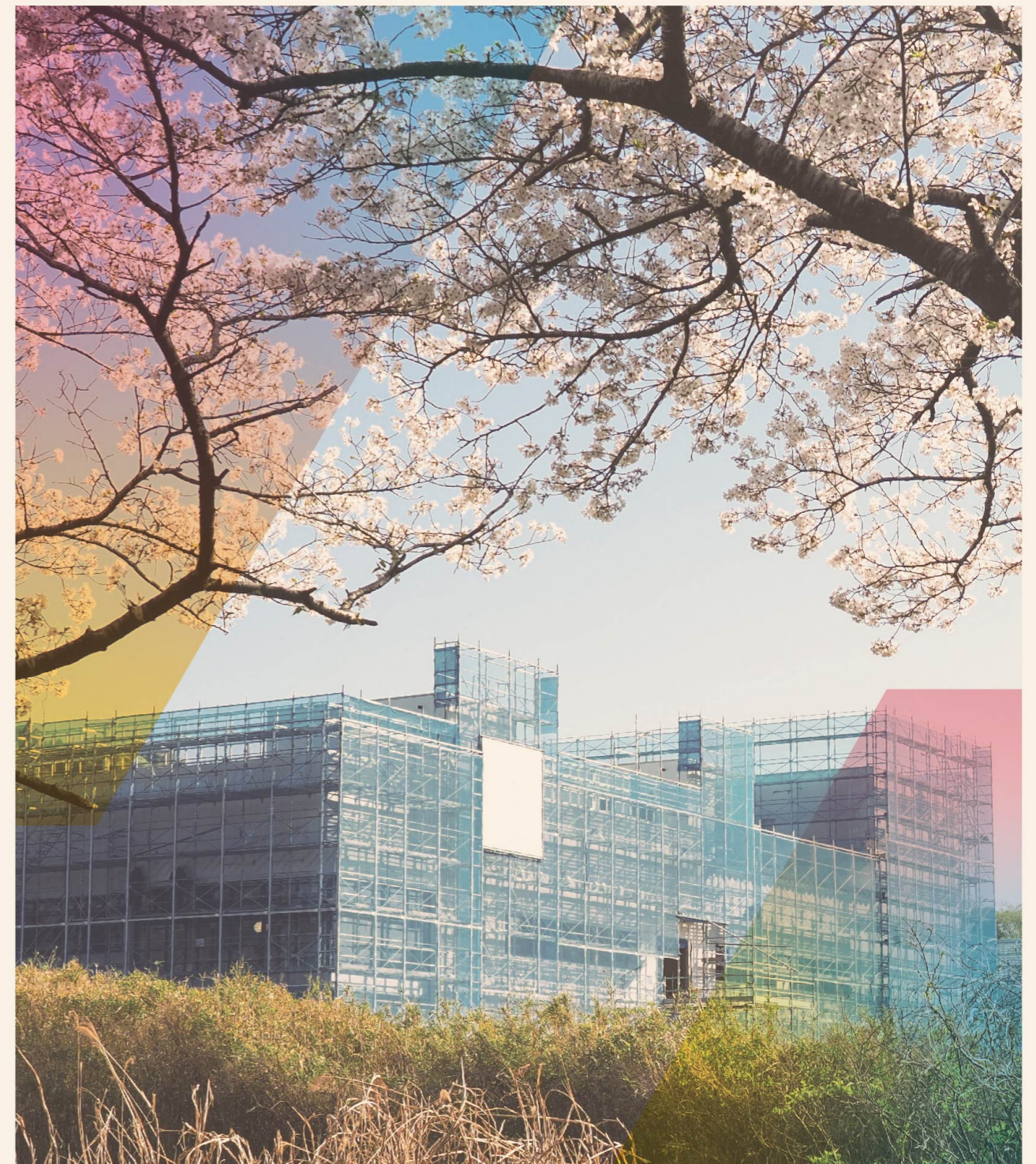


LITAデザイン



あわいひかりHP

Coloring the world with care, every day



For People. For Communities. For the Planet.

TOP MESSAGE

想いを束ね、よりよき未来へ挑む!

2026年、新工場たかせフィールドの稼働を控え、
私たちは「社会のニーズに応える」企業から
「社会をより良くする」企業へと進化します。
地域と地球の未来に責任を持つ、
新たな挑戦が始まります。

代表取締役社長 奥田 拓己



奇跡の軌跡から、社会から必要とされ愛される会社へ

2025年、私たち北四国グラビア印刷は、多くのお客さまから当社の経営姿勢や品質、サービスに対する温かいご支持をいただき、確かな成長の歩みを進めることができました。人口減少や地方の衰退など厳しい外部環境の中でこのような結果を残せたのは、決して偶然ではありません。一人ひとりのグラビアーズ(従業員)が「人生在勤」を胸に、利他の精神で仕事や地域と真摯に向き合い続けたからこそ、理屈を超えた「サムシンググレート(大いなる何らかの力)」が力強い追い風を吹かせてくれたのだと確信しています。

設立50年目の節目となる2026年、会社に求められる役割は大きく変わりました。単に「社会のニーズに応える」存在から、自ら「社会をより良きものにする」存在への進化です。「何が正しいか」「どんな未来を望むか」を問い、社会・地域・業界に対してどう貢献するかを覚悟をもって決める時代です。私たちは単に「役に立つ会社」から、「広く社会から必要とされ、愛される会社」への道を力強く歩み始めます。

新工場「たかせフィールド」の稼働と、軟包装パッケージの誇りと責任

2026年9月、いよいよ新工場「たかせフィールド」が完成します。この新工場は、単なる生産拠点の拡大ではありません。デジタル活用の司令塔としてデータの分析・予測に基づく「スマートファクトリー化」を推進するとともに、工程内で不良を出さない「予防・保証する品質管理体制」を構築し、FSSC22000認証取得を見据えた次世代拠点です。品質・納期・コスト・安全を高次元で実現し、効率と品質を両立させます。しかし、どれほど最新設備が整おうとも主役はあくまで「人」です。大切なアナログの感性は守りつつ、デジタルを武器に人が最高の力を発揮できる環境を整え、労働生産性と働きがいを最大化する独自の強みを構築します。

現在、第四次産業革命が進む中、産業の発展と環境の調和が不可欠です。私たちは軟包装を生み出す動脈産業として、環境に対する重い責任を負っています。しかし、昨今言われるような「プラスチック=悪」では決してありません。確かに素材や製造過

程、使用後の処分やリサイクルにおいて、私たちが取り組むべき改善の余地はまだ残されています。しかし同時に、軟包装は他の容器に比べて圧倒的な軽量化(リデュース)を実現し、運送効率を高めることで社会全体のCO2排出量削減に大きく寄与しています。私たちの製品は、日々の食卓を守るフードサプライチェーンや、社会のライフラインを安全かつ衛生的に支える必要不可欠な存在なのです。

その誇りを持った上で、気候変動や脱プラスチックといった課題から目を背けることなく、自らが生み出す負のインパクトを最小化しなければなりません。「プラスチック包材-Readyな社会」の実現に向け、正しく作り、使い、処理・再利用するためのリテラシーを、社会全体で高めていく必要があります。利益と環境配慮を両立させ、持続可能な未来と事業成長を同時に進めることで、業界のロールモデルとなる企業を目指します。

人間力を磨き、地域と想いを共有する「グラビアーズ」の挑戦

会社は、人生の大切な時間を過ごす場所です。だからこそ、グラビアーズの皆さんには「働きがい」だけでなく「生きがい」を見つけてほしいと願っています。仕事を通じて心を磨き、仲間とともに笑い、時には涙し、物語を紡いでいく——それが私たちの哲学「人生在勤」です。技術が会社を支え、人間力が会社を育てます。挨拶や思いやり、周囲への敬意といった基本を徹底し、全従業員の物心両面の幸福を追求すること。そして、私たちを支える大切な仲間である地域社会とともに成長し、ともに誇れる未来を創ります。

オウンドメディア「あわいひかり」と地域との共創

持続可能な社会に向けて、企業はステークホルダーの皆さまと価値観を共有し、広く発信していく責任があります。その中核となるのが、当社オウンドメディア「あわいひかり」です。環境、社会、経済についての学び直しの機会を提供し、日々の業務で培った知見や、プラスチック包材への正しい教養を積極的に発信してまいります。さらに、「一般社団法人三観広域カーボンニュートラル協議会」に参画し、次世代を担う子どもたちや地域企業への環境啓発にも参画します。地域を巻き込んだ共創の輪を広げていきます。

一隅を照らす「あわいひかり」が差し込んできました。

「人を、想う。地域を、想う。地球を、想う。」

私たちの温かい想いで、

新しい世界を鮮やかに彩ります。

「想い」を束ねる5つの重点方針とプロへの進化

本年は「想いを束ね、よりよき未来へ挑む!」というスローガンのもと、①お客さま満足度を最大化する「プロフェッショナル集団」へと進化します。単に技術力が高いだけでなく、お客さまの未来に寄り添い、自分を超えて考え行動できる人財を育成します。そして、②「品質・サービスと効率の両立」③「社会をより良くするための想いの共有」④「持続可能な成長と環境配慮の両立」、さらには⑤「人間力と社会性を磨き、地域とともに輝く」という5つの方針を推進します。一人ひとりの行動を束ね、社会から必要とされる変革を推し進めます。

「人を、想う。地域を、想う。地球を、想う。」未来へ

2026年、新工場という新しい舞台の幕が開きます。しかし、どれほど立派な建物ができても、全グラビアーズの「想い」と「行動」がなければただの箱に過ぎません。私たちには、これまで培ってきた絆と「グラビアーズHAPPYスパイラル」の精神があります。他者を思いやる利他の心を広げ、多様な価値観を持つ社外の方々とも協業しながら、広く社会や環境課題の解決に挑み続けます。



創業の精神

人生在勤 人生在勤(じんせいざいきん)

社訓

全グラビアーズの物心両面の幸福を追求すると同時に、社会・地域・業界の進歩発展に貢献する。

行動基準

- 一、品質に対してとことん責任を持つ。
- 一、良質で価値ある商品・優れた技術・親身なサービスで社会に貢献しよう。
- 一、何事にも進んで協力し、相互信頼から役立ちの場を創造しよう。
- 一、良いコミュニケーションと協調性で、企業革新に挑戦しよう。



CORPORATE

最適な軟包材をご提供する パッケージソリューション

自社一貫製造

パッケージデザインから製版・印刷・ラミネート・スリット・製袋・出荷まで、自社で全ての工程を行えるため、納期・品質・サービスにおいて他社に負けない自信があります。そして、自社一貫製造だからこそ、グラビア印刷に適したデザイン制作、トータルの色彩管理、最適なフィルム仕様のご提案など、お客さまのニーズに細やかにお応えすることが可能です。



ロール

合掌

スタンドチャック

三包

当社の採用形状例 ※一例



デザイン



版下



製版



印刷



ラミネート



スリット



製袋



梱包・配送

設備一覧

- ・グラビア印刷機
 - 7色印刷機(最大印刷有効幅1280mm,ストレート,反転装置あり)
 - 9色印刷機(最大印刷有効幅1280mm,振分け)
 - 10色印刷機(最大印刷有効幅980mm,振分け,反転装置あり)
- ・デジタル印刷機
 - 5色印刷機(最大基材幅540mm,最大印刷幅520mm)
- ・ラミネート機
 - ドライラミネート機 2台
 - ノンソルベントラミネート機 1台
- ・スリット機・検品機
 - スリット機 6台(うち1台に易カット加工搭載)
 - 検品機 2台
- ・製袋機
 - 合掌製袋機 1台(合掌袋、ガゼット袋、四柱袋)
 - 三方製袋機 2台(三方袋、チャック袋、スタンドチャック袋など)
- ・彫刻機
 - ヘリオ(彫刻式)製版装置1台
 - 高精度メッキ研磨ライン

徹底した衛生管理

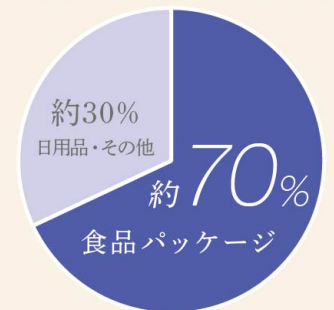
当社の全製造品のうち70%が食品パッケージであり、品質要求の高い製品を多く取り扱っていることから、ISO22000(食品安全マネジメントシステムに関する国際規格)を認証取得しました。フードサプライチェーンの一部として、お客さまに、そして消費者に安全安心な製品をお届けできるよう、仕組みを構築しています。

F.S(フードセーフティ) NEWS

ISO22000を認証取得して以来、毎月F.S NEWSを発刊しています。これは、当社の食品安全に関する取り組みを、従業員に伝えるためのツールです。手洗いの汚れが残りやすい箇所の検証、防虫管理、監査の仕組みと結果など、あらゆるテーマを取り上げています。

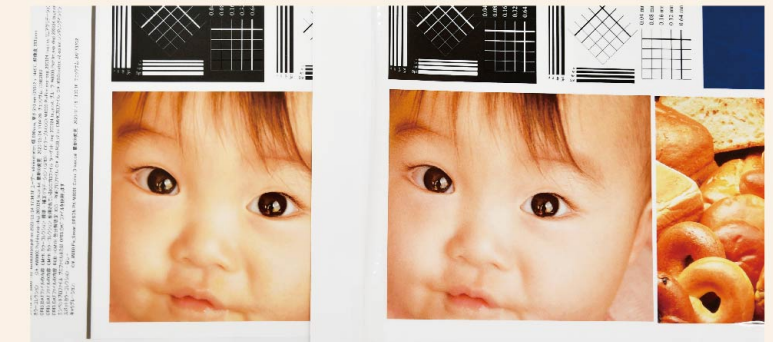


F.S NEWS
2015年4月～毎月20日発行



トータルカラーマネジメントシステム

デザインデータから印刷・ラミネートまでの全行程で、色をどのようにコントロールするかを標準化し、管理しています。マネジメントする上で、印刷の最終段階を想定した印刷基準プロファイルを作成し、それに則ったルールを厳しく管理運用することで、他社では真似のできない高度な色再現性でパッケージをご提供できます。



カラーマネジメント専用印刷物

グラビア印刷専門のパッケージデザイン

グラビア印刷パッケージに特化した専門デザイナーがお客さまの想いをカタチにします。食品パッケージだけでなく、美粧性の高い化粧品パッケージの他、様々な分野にわたりデザインのご提案が可能です。



会社概要

設立：1976年1月（創業1970年）
 資本金：3,000万円
 代表者：代表取締役社長 奥田拓己
 本社：〒768-0052 香川県観音寺市栗井町755番地
 TEL:0875-27-9280 FAX:0875-27-9380
 たかせフィールド：〒767-0021 香川県三豊市高瀬町佐股字東長谷乙421-1 ※2026年9月竣工予定
 東京営業所：〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-9-13Biz-ark浅草橋駅前5階
 TEL:03-6682-3005 FAX:03-6682-3006
 従業員数：131名（2026年4月時点）
 売上高：52.4億円（2025年12月期）
 決算期：12月末
 事業内容：グラビア印刷による軟包装材の製造、及び包装材の仕入並びに提供



業績推移

直近の売り上げは堅調に推移しております。単に売り上げ規模を求めめるだけでなく、日々の業務効率化によりコスト削減を進め、堅実な経営基盤を構築し、資材の安定供給に努めています。



資格・受賞・認定一覧

- ・ISO22000認定証取得 2015年認証登録
- ・軟包装衛生協議会 認定工場 1998年認定
- ・グリーンプリンティング工場認定 2015年認定
- ・GPマーク普及大賞ゴールドプライズ 2024年受賞
- ・香川県中小企業BCP優良取組事業所 2018年認定
- ・地域未来牽引企業 2020年受賞
- ・おもてなし経営企業選出（経済産業省） 2013年認定
- ・四国でいちばん大切にしたい会社大賞 2020年受賞
- ・はばたく中小企業・小規模事業者300社 2023年度選出
- ・障害者雇用優良中小事業主（もにす）認定 2023年認定

沿革

- 1970年 前会長 奥田正幸が香川県観音寺市八幡町において北四国グラビア印刷創業
- 1976年 株式会社北四国グラビア印刷を資本金1,000万円にて設立
- 1992年 観音寺市栗井町755番地へ本社並びに新工場新築移転
- 1998年 軟包装衛生協議会認定工場取得（202号）
- 2003年 ITシステム構築、ISO9001認証取得、製版部門新設、自家発電システム設置
- 2004年 メッキ・製版システム本格稼働、製袋部門新設、三方、センタープレス製袋機設置
- 2006年 専務取締役 奥田拓己が代表取締役に就任
- 2007年 東京営業所設置
- 2010年 VOC処理設備設置
- 2012年 本社第二工場竣工、空調設備全面改修、本社第一工場改修、新食堂設置、私たちの信条（credo）制定
- 2013年 資本金3億1,000万円に増資、おもてなし経営企業選出
- 2015年 ISO22000認証取得、新基幹管理システム「ワンピース」導入、グリーンプリンティング工場に認定
- 2017年 デジタルインクジェット印刷機導入、事業継続計画（BCP）策定、攻めのIT企業経営中小企業百選選出
- 2018年 香川県中小企業BCP優良取組事業所認定制度認定、新潟外部倉庫運用開始
- 2020年 創業50周年、第9回 四国でいちばん大切にしたい会社大賞「四国経済産業局長賞」受賞
- 2021年 創業50周年記念式典開催、開発部新設、2021GPマーク普及大賞受賞
- 2022年 2022GPマーク普及大賞受賞、Amoeba Pro導入、新工場用地取得
- 2023年 東京サテライトオフィス開設、2023GPマーク普及大賞受賞（3年連続）、もにす認定
- 2024年 環境メディア「あわいひかり」始動、はばたく中小企業・小規模事業者300社選出、2024 GPマーク普及大賞ゴールドプライズ受賞、製版設備更新
- 2025年 2025 GPマーク普及大賞ゴールドプライズ受賞、「たかせフィールド」建設着工、本社にソーラーパネル設置、第2回かがわプラスチックスマート大賞受賞

コーポレート

環境への責任

お客さまへの責任

従業員への責任

地域への責任

CSR方針

北四国グラビア印刷が果たすべき責任

企業が存続し続けるためには「利益」が必要です。しかし利益の追求だけでなく、その活動の根本には「事業活動を通じて倫理的観点から社会に貢献していく」という姿勢がなければならないと私たちは考えています。私たちは、私たちの事業活動が社会に与える影響に責任を持ち、私たちに関わる全ての人や組織の物心両面の幸福（しあわせ）を実現させます。

環境への責任

当社の事業は枯渇原料（原油）に依存した、環境負荷の高いものであるといえます。だからこそ、環境保全やパッケージの未来を真剣に考え、SDGsやESGの方針に沿って地域社会、業界、そして地球全体のために、という視点で事業活動をしています。

お客さまへの責任

お客さまに「安心」していただくために「安全」という価値にとことんこだわります。「食品安全」がそのひとつです。当社では品質やサービス、提供価値を高め続けるため、様々な改善活動を展開しています。

従業員への責任

当社の credo には「限りある人生の多くを過ごす会社」という表現があります。その会社で過ごす時間が従業員の幸福につながるよう、多様な価値観に対応できるよう、コミュニケーション活性化や人材育成など、様々な取り組みをしています。

地域への責任

当社は地域社会の中で事業を営み、地域に支えられて歩んできました。企業活動は地域との信頼関係の上に成り立っています。雇用の創出や次世代育成への協力、地元企業との連携などを通じて、持続可能な地域社会の実現に貢献しています。

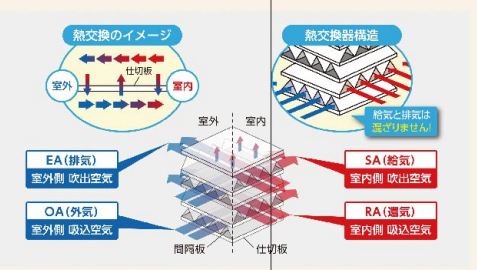
環境への責任

次世代型スマートファクトリー 新工場「たかせフィールド」

1. Thermal Control

エアコンに高効率R32冷媒の採用

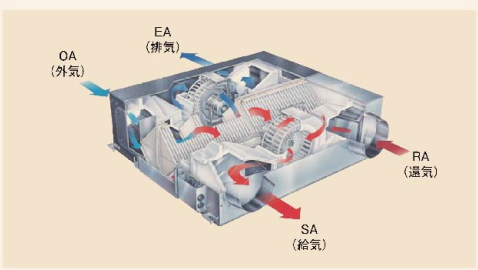
新工場のエアコンには、従来の冷媒よりも地球温暖化係数が低く、省エネ性能に優れたR32冷媒を採用しています。冷暖房時の目に見えない「熱」のロスを最小限に抑えます。



2. Air Management

CO2センサー連動・全熱交換換気システム

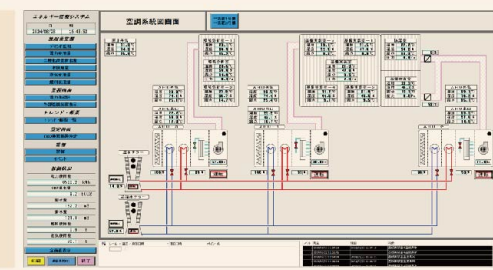
人の密度に合わせて、センサーが空気の汚れ(CO2濃度)を検知。必要な分だけ換気し、熱を逃がさない「全熱交換」を行うことで、空調負荷を劇的に低減します。



3. EMS Energy Management System

工場全体のエネルギーを見える化

工場全体の電力使用状況をリアルタイムで監視・管理します。運用改善や制御調整につなげることで、電力使用を適切な状態へ最適化しながら、省エネを実現するPDCAサイクルを回します。



3

of
SMART
TECHNOLOGY



数字で見る環境への取組

scope 1+2

当社は、事業活動に伴う温室効果ガス排出量の削減を重要課題と位置づけ、スコープ1およびスコープ2の排出量を継続的に把握・管理しています。燃料使用による直接排出の低減に向けて設備の高効率化や運用改善を進めるとともに、購入電力についても使用量の見える化と省エネ施策を推進しています。当年度のスコープ1+2排出量は【2,975t-CO2】でした。今後データ分析に基づく改善と省エネ投資を継続し、排出量のさらなる低減を図ります。

算定年度	売上 (億円)	スコープ 1+2 (t)	売上 1億円あたりの CO2排出量(t)
2022年	42.1	2,962	70.4
2023年	46.5	2,987	64.2
2024年	48.1	2,945	61.2
2025年	52.4	2,975	56.8

CFP算定

当社は、製品のライフサイクル全体における環境負荷の把握を目的として、CFP(カーボンフットプリント)算定を実施しています。原材料の調達から製造、輸送、使用、廃棄・リサイクルに至るまでの各段階を対象に、温室効果ガス排出量を定量的に評価しています。算定にあたっては、社内データおよびLCAデータベースを活用し、ISO14067に基づいて排出量を算定しています。算定結果は、製品設計の見直しや調達先の選定、製造プロセスの改善に反映し、環境負荷の低減と継続的な改善活動につながっています。今後も算定精度の向上と対象製品の拡大を進め、透明性の高い情報開示に取り組めます。

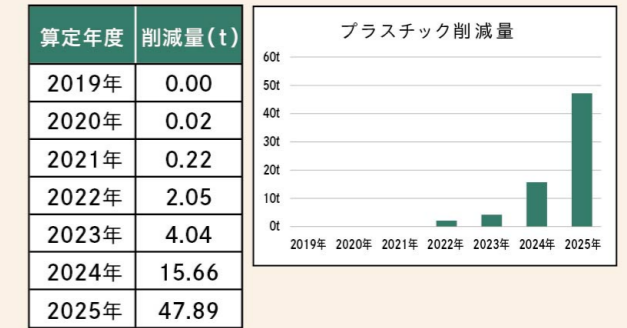
包材サイズ:290mm × 177.5mm 年間10万袋使用すると仮定した場合

フィルム構成	プラスチック使用量	CO2排出量
OPP#20//CPP#30	484 kg	3,510 kg-CO2eq
OPP#18//乳白OPP#25	367 kg	2,830 kg-CO2eq
削減量	-117 kg(-24%)	-680 kg-CO2eq(-19%)

※CO2排出量特記事項
 ・原単位:LCIデータベースIDEA Ver2.3(一部原材料を除く)
 ・算定ルール:ISO14067

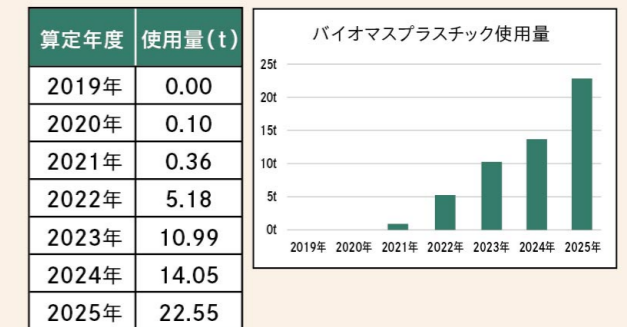
プラスチック使用量削減

当社は、資源循環の推進と環境負荷低減を目的に、製品および包装材におけるプラスチック使用量の削減に取り組んでいます。設計段階での素材の見直しや軽量化、代替素材の採用、梱包仕様の最適化により、使用量の抑制を進めています。当年度はこれらの取り組みにより、プラスチック削減量は前年比【305%】、重量換算で【47.8t】削減しました。今後もサプライヤーと連携しながら、リサイクル材の活用拡大と使用量削減を継続的に推進していきます。



バイオマスプラスチックの推進

当社は、石油由来プラスチックの使用低減と温室効果ガス排出量の削減を目的として、バイオマスプラスチックの採用を推進しています。製品部材および包装材の一部を対象に、植物由来原料を用いたバイオマスプラスチックへの切り替えを段階的に進めています。当年度のバイオマスプラスチック使用量は【22.5t】でした。今後も品質・安全性・供給安定性を確認しながら適用範囲を拡大し、持続可能な資源利用の推進に取り組めます。



太陽光発電

当社は、再生可能エネルギー活用による温室効果ガス排出量削減を目的として、事業所および工場への太陽光発電設備の導入を進めています。自家消費型の発電を中心に、日中の電力需要の一部を再生可能エネルギーでまかなう体制を構築しています。当年度の太陽光発電による発電量は【302.3MWh】となり、総電力使用量の【8%】をカバーしました。これにより、年間約【160t-CO2】の排出量を削減しました。今後も設置拠点の拡大と発電効率の向上を図り、再生可能エネルギー比率の向上に取り組めます。



製造プロセスでの取組

ノンソルベントラミネート

プラスチックフィルムのラミネート方式で一般的なのはドライラミネートです。この方式では接着剤を希釈するために有機溶剤を使用します。それに対して「ノンソルベントラミネート」はその名のとおり「ノン(無)」「ソルベント(溶剤)」、溶剤を使用しないラミネート方式です。溶剤を使用しないことで作業環境が良くなることはもちろん、揮発性有機化合物(VOC)の大気への放出もないため、地球環境の保全に効果があります。



デジタル印刷機

小ロット、多品種、短納期といった昨今のニーズに応えるため、版を必要としないデジタル印刷機を導入しています。必要なものを、必要な時に、必要な量だけ製造することで、過剰在庫・廃棄物の削減につなげています。また使用するインキはVOCを使用しない環境配慮設計のため、環境負荷低減、クリーンな環境を実現しています。



グリーンプリンティング認定

当社は、環境に配慮した印刷工場で製造を行っています。これは、設備面のみではなく、ゴミ箱やインキの蓋を常に閉めることで有機溶剤の揮発を防止するなど、ソフト面でも様々な取り組みを行っています。また、製造時に発生する廃棄物の量も極限まで削減できるように取り組んでいます。このような取り組みは、一般社団法人 日本印刷産業連合会のグリーンプリンティング認定制度により、認定されています。



環境配慮型の自社製品開発

顧客企業から環境に配慮した包材の問い合わせを多くいただいています。当社としても、持続可能な社会の実現のため、積極的に製造や物性評価を行っています。具体的には、薄肉化・植物由来・生分解・紙などです。これらを実現することで、生活になくならないパッケージのCO2削減と持続可能な原料調達を目指しています。



スリムるフィルム

スリムるフィルムは、使用する原材料の量を大幅に削減し、資源の無駄を最小限に抑えることができます。従来の包装材料と比較してより少ない資源で同等の機能を提供できるため、資源の使い方が非常に効率的であり、持続可能な社会の実現にむけて重要な役割を果たします。



カーボキャップフィルム

カーボキャップフィルムは、焼却処理時のCO2排出量を削減できる画期的なパッケージです。炭化促進剤を活用することで燃焼時の炭素放出を低減。環境負荷の少ない素材設計により、使用後の廃棄処分時にもサステナブルな選択肢となります。リサイクルが難しい用途にも対応し、企業の環境負荷低減に貢献します。



リ・ボンフィルム

リ・ボンフィルムは使用後に発生する廃棄フィルムを再ペレット化し、パッケージに再生利用したフィルムです。廃棄されるはずだった資源をもう一度パッケージに使用することで、資源循環と環境配慮を両立。廃棄物を価値ある素材へと変える、次世代のリサイクルフィルムです。



米っとフィルム

米っとフィルムは、お米を使ってつくられたフィルムです。食用に適さない古米や、米菓メーカーなどで発生する破碎米といった、使用用途がなく廃棄されてしまう国産のお米(非食用米)から、レジンを生成。それをフィルムに使用しています。



サラダフィルム

サラダフィルムは、一部に植物由来のバイオマスポリエチレンを使用しており、石油資源に依存する従来のプラスチックに比べて環境への負荷が少ない特徴を持ちます。地球に優しい選択をすることで環境負荷を軽減し、より持続可能な未来へと一歩踏み出します。

RESPONSIBILITY to

OUR CUSTOMERS

お客さまへの責任

ISO22000

当社では、食品や品質要求の高い製品を多く取り扱っています。そこで、2015年にISO22000を認証取得しました。私たちはフードサプライチェーンの一部としてお客さまに、そして消費者に安全安心な製品をお届けできるように、仕組みを構築しています。また、FSSCではなく、ISOを高いレベルで運用することで、当社に合わせた食品安全の方法を構築しています。



軟包装衛生協議会の認定

食品・医薬品用途の安全性向上を目的とする軟包装衛生協議会の認定を1999年より取得しています。同協議会が定める衛生管理基準に基づき、製造環境のゾーニング、異物混入防止対策、設備の点検・清掃、従業員教育を徹底。継続的な監査と改善活動を通じて、安全・安心な軟包装製品の提供に努めています。



異物混入防止

工場内には持ち込み物を制限し、最低限のものしか持ち込まないように管理しています。もちろんこれは従業員のみではなく、来訪者さまも対象となります。また、工場入り口では履き替えを徹底し、工場内に異物を持ち込まないようにしています。その他にも、防虫管理の徹底や、血痕の付着対策などさまざまな取り組みを実施しています。



回収訓練

1年に1回、不良が発生したことを想定し、遡ってどこまで不良が発生しているか、それが今どのような状態にあるのかを確認するという訓練を実施しています。これは不良発生時に「正確に早く、波及範囲を特定できる仕組み」になっているかの検証をするためです。また、実際に自分たちでトレースすることで、回収訓練を通して「帳票記入」や「キープサンプル」の重要性を理解してもらうことも目的としています。



QCサークル活動

2007年よりQCサークル活動を継続し、経営環境やお客さまニーズの変化に対応しながら、改善活動のスパイラルアップを図っています。全従業員が参画する小集団活動を通じて、品質向上・生産性向上・課題解決に取り組み、より安全で安定した製品・サービスの提供につなげています。毎年4月に実施するQCサークル発表会では、活動成果をお客さま・協力会社さま・仕入先さまにも公開し、品質向上への取り組みを共有することで、透明性の確保と信頼関係の強化を図っています。



BCP対策

大規模自然災害や感染症などの非常時に備え、従業員の安全確保を最優先としつつ、事業継続によるお客さまへの安定供給責任を果たす体制を整備しています。安否確認アプリ「安否コール」の活用や備蓄庫の設置、発電機・食料等の管理を徹底し、被害最小化と早期復旧に向けたBCPの継続的な見直しを行っています。



東京営業所

より多く、きめ細やかにお客さまのニーズにお応えするために東京営業所を構えたのが2007年。当初は人員も設備も最低限でしたが、サービス向上を目指す中で規模を拡大してきました。現在は色校正立会のためのプリンターや、遠隔で刷り上がりの色を確認できる「リモート立会いシステム」も導入し、ただの営業所ではない“提供価値を向上するための拠点”としての機能を高めています。



RESPONSIBILITY to

OUR EMPLOYEES

従業員への責任



従業員への責任 RESPONSIBILITY to OUR EMPLOYEES

風土をつくる

レクリエーション活動

コミュニケーションの活性化と人材育成を目的にレクリエーション活動を実施しています。部署を越えた交流を通じて相互理解を深め、働きやすく風通しの良い職場づくりにつなげています。運営は主に若手社員で構成される委員会が担い、企画から実施、報告までの過程を通じて主体性や協働力を育む機会となっています。



人生在謹製ケーキ

従業員が大切な人へ感謝の気持ちを伝えるきっかけづくりとして、年に一度、希望日にホールケーキをプレゼントする取り組みを行っています。普段は照れくさくて伝えにくい「ありがとう」の想いを形にすることで、従業員とご家族とのつながりを大切に、温かい企業文化の醸成につなげています。



社員食堂「はがみ」

従業員が快適に休憩できる環境づくりとして社員食堂を設けています。製造現場は防虫対策のため窓がないことから、食堂には大きな窓を設置し、外の景色を眺めながらつろげる空間としています。自社厨房で調理した栄養バランスの取れた温かい食事を社員価格で提供し、部署を越えた交流が生まれる憩いの場としても活用されています。



ありがとうカード・お客さまの声

助けてもらったことや嬉しかった出来事を「ありがとうカード」に記入し社内でも共有する取り組みを行っています。感謝の気持ちを伝え合うことで、従業員同士の信頼関係とチームワークの向上につなげています。また、お客さまなど社外から寄せられた声も共有し、全社で仕事への誇りを育むとともに、エンゲージメントの向上につなげています。



従業員への責任 RESPONSIBILITY to OUR EMPLOYEES

共に成長する



5S活動

当社の5S活動はきれいな職場にしていくための手段であり、目的ではありません。5S活動を徹底することで、職場環境が変わり、美しい環境に変わっていくプロセスの中で人が育ち「守ることを決めて、決めたことを守る」という風土醸成こそが真の目的です。企業存続に不可欠な「人づくり」の基礎を作り最大の力を発揮させることで品質、安全、顧客サービスを向上させていきます。



人事評価制度

当社では、従業員の成長を支援するため独自の人事評価制度を運用しています。評価は「行動(プロセス)」と「業績(結果)」の両面から行い、直属上司だけでなく他チームのリーダーも交えた会議により、多角的な視点で公正に判断します。評価前後には面談を実施し、目標や成果の認識を共有するとともに、成長につながるフィードバックの機会を設けています。



資格取得支援

資格取得で大切なことは、自分事と捉え主体的に参画することです。仕事では経験やスキル、技術はもちろん大切ですが、基礎知識はもっと大切です。会社推奨の資格に関する勉強をすることにより、その分野での知識を深めることができ、実践的な場での経験だけでは知りえない、新しい教養が身に付きます。時間をやり達成した喜びをモチベーションとし、最高のパフォーマンスにつなげています。



各種研修制度・勉強会

全社員研修や階層別・職種別研修など、多彩な研修プログラムを整備しています。週1回の早朝勉強会(自由参加)や資格取得に向けた勉強会も実施し、社員自らが講師を務めることで学びを深めています。また、外部セミナーや研修への参加も推奨し、異業種の方々との交流を通じて新たな気づきや人脈づくりの機会を広げています。



RESPONSIBILITY to

OUR COMMUNITIES

地域への責任



SDGsカードゲーム

SDGsの達成に向けた理解促進のための活動を行っています。「2030SDGsカードゲーム」を通じて、SDGsの考え方や社会課題のつながりを体感的に学ぶ機会を提供しています。参加者が持続可能な社会の実現に向け、自らできる行動を考えるきっかけづくりに取り組んでいます。



海浜清掃活動

当社サウンドメディア「あわいひかり」編集部主催で、地域の子どもとそのご家族を対象に海ごみ拾いとクラフト体験のイベントを開催しています。専門講師による講義も実施し、環境保全への理解を深める地域活動を継続的にを行っています。



地域の子どもたちへの学びの機会の提供

当社では、小学生から高校生を対象とした工場見学や教室、インターンシップを随時受け入れています。2025年にはハローワークや地域企業と連携した「親子おしごと教室」や地元高校・学童向けの社会見学を開催し、未来を担う子どもたちに仕事体験と地域企業を知る機会を提供しています。



未来づくり支援

スポーツチーム・団体を応援

地域社会への責任として、地元スポーツチームのスポンサー活動やスポーツ大会への協賛を行っています。香川ファイブアローズ様、三観エストレラ様のスポンサーを務めるほか、日本学生トライアスロン大会や香川丸亀国際ハーフマラソンへの協賛を行っています。



地域のにぎわいづくり

地元イベントへの参加や協賛を通じ、地域活性化に取り組んでいます。夏祭り「銭形まつり」では協賛に加え、ポスターなど各種制作物を担当。地元特産品の物産展によるまちおこしプロジェクト「どっかんおんじ」には協賛・寄付・ビジュアル制作・ボランティアとして毎年参加しています。商工会議所主催「土曜デー」では「こどもちょうさ」を提供し、地域の子どもたちに楽しい体験を届けています。



積極的な障がい者雇用

令和5年11月10日付で、当社の障がい者雇用への取り組みが評価され、厚生労働大臣による「もにす認定」を取得しました。これまで職場環境の整備や業務の工夫を重ね、一人ひとりが能力を発揮できる体制づくりに努めてきました。今後も多様な人財が安心して働ける職場づくりを進めるとともに、地域に根ざした企業として雇用の創出と活性化に寄与し、地域社会とともに持続的な発展に貢献してまいります。



オウンドメディア あわいひかり

当社は理念経営のもと、環境負荷の低減を重要な課題と捉えています。その取り組みの一つとして、環境をテーマにしたウェブメディア「あわいひかり」を2024年1月に開設しました。パッケージ印刷における環境対応の紹介や、業界内外の先進的な取り組みの発信を通じて、環境を身近に考えるきっかけづくりを行っています。今後も情報発信を通じて意識の醸成に貢献してまいります。



awai hikari.media

地球に、地域に、人にいいことをチェック!

編集方針

本報告書は、当社のCSR(企業の社会的責任)に関する考え方および具体的な取り組みについて、ステークホルダーの皆さまに分かりやすくお伝えすることを目的として作成しています。事業活動を通じた社会的価値の創出や、環境・地域・人材への取り組みについて、重要性の高い内容を中心に掲載しています。今後も継続的な情報開示の充実に努めてまいります。

報告対象組織

本報告書は、株式会社北四国グラビア印刷を対象としています。なお、一部の取り組みについては、関連部門および協力企業との連携内容も含まれています。

報告期間

本報告書の対象期間は、原則として2025年1月1日から2025年12月31日までとしています。ただし、一部にはそれ以前からの継続的な取り組みや、最新の活動内容も含まれています。

ガイドライン

本報告書は、CSRに関する一般的な考え方および情報開示の動向を参考に作成しています。今後は、国際的なガイドライン(GRIスタンダード等)も参考にしながら、より充実した情報開示に努めてまいります。

